

第2回 高崎学検定

平成26年10月26日（土）実施



— 問題と解説 —

問 1

榛名山は約50万年前から、激しい火山活動を何度も繰り返し、たくさんの峰を形成しました。【ア】に2回の大噴火と火山活動で【イ】(1,343メートル)が出来て以降、大規模の噴火は起っていません。【イ】は榛名山の峰の中で6番目の高さです。榛名山の最高峰は掃部ヶ岳(1,449メートル)で、相馬山(1,411メートル)が2番目、榛名富士(1,391メートル)は3番目となります。

- ア: (1)紀元前10世紀 (2)1～2世紀
(3)5～6世紀 (4)18世紀

[正解 3]

- イ: (1)鍋割山 (2)二ツ岳 (3)小野子山 (4)金鷄山

[正解 2]

●解説

榛名山は約50万年前、マグマが地層を貫いて噴出し火山活動が始まりました。その後、激しい活動は20万年に及び、その結果、富士山に似た約2,500メートルの円錐形の大規模な火山に成長したと推定されています。

その後は、約22万年前に山頂部で大爆発があり、大量の軽石を噴出したため地下のマグマ溜りが空洞となり山頂部が陥没し、カルデラが形成されました。その後も噴火が繰り返し起こり、最後の活動で生まれた溶岩ドームが二ツ岳です。

近頃話題を集めている甲を着装した人骨の金井東裏遺跡(渋川市)は、この時期のものです。

問 2

現在、【ア】三碑と総称される山上碑・多胡碑・金井沢碑は、全て国特別史跡に指定されていますが、特に多胡碑は、江戸時代の後半から朝鮮・中国でも注目されていました。端緒は、徳川家治の将軍就任に際して来日した【イ】に多胡碑拓本が渡されたことに遡ります。2014(平成26)年は多胡碑が海を渡ってからちょうど【ウ】年の節目の年です。維新後、三碑の保存・評価・普及に尽力した第二次群馬県最初の県令【エ】が、清末の学者・楊守敬の求めに応じて多胡碑拓本を贈呈したことにより、世界的評価が定着しました。

ア: (1) 日本 (2) 東国^{あづまのくに} (3) 上野^{こうづけ} (4) 群馬

〔正解 3〕

イ: (1) 高麗使^{こうらい} (2) 朝鮮通信使^{ちょうせんつうしん し}
(3) 明国使^{みん} (4) 清国使^{しん}

〔正解 2〕

ウ: (1) 150 (2) 250 (3) 400 (4) 500

〔正解 2〕

エ: (1) 楫取素彦^{かとりもとひこ} (2) 湯浅治郎^{ゆ あさ じ ろ う}
(3) 矢島八郎^{や じ ま は ち ろ う} (4) 下村善太郎^{しもむら ぜん た ろ う}

〔正解 1〕

●解説

多胡碑は、朝鮮・中国の儒家・書家の間でも高く評価されていますが、1764(宝暦14)年の朝鮮通信使に篆刻家・沢田東郊^{てんごくか さわだとうこう}(東江とも、1732～1796)から拓本が手渡されたことが端緒です。ちょうど250年前のことでした。この拓本は、下仁田の儒家・高橋道斎^{たかはしどうさい}(1718～1794)から東郊に渡されたものです。

半世紀の後、朝鮮王朝から^{おおしん}大清帝国に拓本が渡されました。その書に感銘を受けた清末の学者・楊守敬^{ようしゅけい}(1839～1915)は、第二次群馬県初代県令となった楫取素彦^{かとりもとひこ}(1829～1912)の元を尋ね新たな拓本を求めたほどでした。

楫取素彦は名県令として有名ですが、上野三碑全体の保存・評価・普及に尽力し、吉井いしぶみの里公園に「深草のうちに埋もれし石文の世にめづらるゝ時は来にけり」の歌碑を残しています。

上野三碑は、日本最古の石碑群であるだけでなく、日本・朝鮮・中国の文を通した友好関係を築いていた歴史も持ちます。そうした価値もある宝であることから、本検定直後の11月1日、上野三碑の世界記憶遺産登録を目指す推進協議会が設立されました。

問 3

金井沢碑は、山名町の丘陵地に建てられた古代の石碑で、きわめて貴重な文化財として国特別史跡に指定されています。【 ア 】時代前半の726(神亀^{じんき}3)年に当地の豪族である三家氏^{みやけ}とその同族たちが、【 イ 】のために造立したものです。

ア: (1)古墳 (2)奈良 (3)平安 (4)鎌倉

[正解 2]

イ: (1)立身出世 (2)現世利益 (3)祖先供養 (4)極楽往生

[正解 3]

●解説

金井沢碑は、現在の高崎市南部(佐野一帯)に居住した三家氏^{みやけ}一族ならびに同氏と婚姻関係等にあった近隣豪族によって、祖先を仏教供養する目的で建立されました。碑文には、「七世父母 現在父母のため」、「知識(仏教の教え)を結び」、「天地に誓願し仕え奉^{たてまつ}る石文^{いしぶみ}」との文言と、知識で結ばれた9人の男女の名などが刻まれています。

問 4

国指定史跡の観音塚古墳は、高崎市八幡町^{やわた}に所在する大型【 ア 】です。後円部南に開く横穴式石室は、日本を代表する【 イ 】として著名です。30種300点あまりを数える出土品は、一括して国重要文化財に指定されており、特に銅承台付蓋鉢^{どううけだいつきふたわん}は、百済武寧王陵^{くだらぶねいおうりょう}の出土品とも類似し、日本の【 ウ 】出土品のなかでも名品として知られています。八幡台地を拠点にして古代の【 エ 】郡域に勢力を張った東国有数の首長像が推定されます。

ア: (1)円墳 (2)前方後円墳 (3)方墳 (4)前方後方墳

[正解 2]

イ: (1)巨石積み石室 (2)切石積み石室
(3)埴^{せん}積み石室 (4)模様積み石室

[正解 1]

ウ: (1)前期古墳 (2)中期古墳
(3)後期古墳 (4)終末期古墳

[正解 3]

エ: (1)碓氷・片岡 (2)群馬・碓氷
(3)群馬・緑野^{みどの} (4)片岡・緑野

[正解 1]

●解説

観音塚古墳の横穴式石室は、最大で12畳大の巨石を高度な技術で組み上げており、そこから出土した金色に輝く銅鍔等の副葬品は、古墳時代後期の日本を代表する存在として広く知られています。

近年、本古墳の近隣から「片置郡」(片岡郡)と刻まれた奈良時代の土器が出土し、一帯が古代の片岡郡域だったことが判明しました。本古墳は碓氷川の流域に所在することから、被葬者は上流の碓氷郡から下流の片岡郡の2郡に勢力を及ぼしたと推定されます。

問 5

国史跡上野国分寺は、【 ア 】の^{みことのり}詔によって建設が開始された諸国国分寺の一つですが、【 イ 】の記述から、全国で最も早い時期に完成した国分寺だと考えられます。その規模もまた全国最大級でした。中でも七重塔は、礎石の規模から、高さ【 ウ 】メートルと推定され、1998(平成10)年に高崎市庁舎が完成するまで、群馬県史上最も高い建物だったと考えられています。

- ア: (1)天武天皇 (2)聖武天皇
(3)文武天皇 (4)神武天皇

〔正解 2〕

- イ: (1)日本書紀 (2)^{しよくにほんぎ}続日本紀
(3)古事記 (4)日本後紀

〔正解 2〕

- ウ: (1)約20 (2)約40 (3)約60 (4)約100

〔正解 3〕

●解説

国分寺の建立は、741(天平13)年に諸国に一斉に命じられましたが、過大な財政負担から工事が進まず、たびたび督促令が出されました。これを受け、749(天平感宝元)年に上野国の豪族2人が国分寺に「知識物を献じた」功績で高位を賜っていることから、上野国分寺の主要伽藍はこの頃全国でもいち早く完成したと見られています。また、上野国分寺の建物は、礎石の大きさや柱間の規模から、諸国国分寺のなかでも有数の規模であったと推定されています。

問 6

剣崎町の台地上で発掘された剣崎^{ながとろ}長瀬西遺跡からは、【 ア 】の積^{つみ}石塚・【 イ 】・馬の墓・韓式系土器などがセットで出土しました。これらの出土品は朝鮮半島の加耶^{かや}地域の特徴を示しており、このころ高崎市域に多くの渡来人が招致され、地域開発に協力していたことが判明しました。

- ア： (1) 弥生時代 (2) 古墳時代
(3) 奈良時代 (4) 飛鳥時代

〔正解 2〕

- イ： (1) 金製耳飾り (2) 金製の靴
(3) 金製の帯金具 (4) 金製の冠

〔正解 1〕

●解説

4～5世紀の朝鮮半島では半島北部の高句麗^{こうくり}が南下政策をとり、これに危機感を抱いた半島南西部の百済^{くだら}は、倭^わ(日本)の支援を得て対抗しました。その見返りとして、百済や加耶(半島南部の国々)からは学者・技術者などが多数渡来し、倭の文化を著しく発展させました。当時、倭の先進地の一つであった高崎市域にも渡来人が招致され、治水や馬生産などに関わる技術提供を行ったと考えられます。そうした渡来人の墓域の一つが剣崎長瀬西遺跡です。

問 7

新田義重の子、義範は与えられた所領に豊前国の宇佐神宮を勧請し()を建立しました。義範は源頼朝の出兵にいち早く参じて以来、源氏一門衆として転戦し、一ノ谷の戦いでは有名な鶴越^{ひよどりごえ}の逆落としによって背後から平家を急襲するなど活躍しました。

- (1) 熊野神社 (2) 生品神社
(3) 倉賀野神社 (4) 山名八幡宮

〔正解 4〕

●解説

新田義重の子、義範は多胡郡山名郷を与えられ、山名氏を称し安元
年中(1175～1177)年に、豊前国の宇佐神宮を勧請して転戦し活躍し
ました。

平家討伐後は、頼朝の推挙により山名義範は伊豆守に任官されまし
た。しかしその後、北条氏が台頭する中で表舞台からは名を連ねなくな
っていきました。山名氏はその後の15世紀に、応仁の乱西軍総大将・
山名持豊(宗全)の時期に全盛を迎えました。

問 8

井伊直政が高崎城下の町割をした際に、箕輪城下にあった町をたくさん
移しましたが、該当しない町はどれでしょうか。

- (1)鍛冶町 (2)田町 (3)柳川町 (4)連雀町

〔正解 3〕

●解説

井伊直政が高崎に居城を移した際に、箕輪と同じく大手門前に連雀
町を移し城下の総名主の町として町づくりを行ないました。このとき移っ
てきた鍛冶師や鞘師などの住んだ所が鍛冶町や鞘町などで、田町は田
宿の住民が移り住んだ町です。江戸時代は武士が住んでいた町に町名
はなく、明治になって柳川町や宮元町が命名されました。

問 9

下室田町にある長年寺は、鷹留城主や()であった長野氏の菩提寺
です。

- (1)和田城主 (2)里見城主 (3)箕輪城主 (4)安中城主

〔正解 3〕

●解説

長年寺は鷹留城主長野業尚によって開山され、山号の「室田山」が
示すように室田地方に続く曹洞宗の名刹であります。長野氏は憲業が箕
輪へ居城を移し、武田氏の攻撃で落城するまで続けました。長年寺には
長野氏の菩提寺として業尚以下7代の五輪塔があります。和田城は
和田義信、里見城は里見義俊、安中城は安中忠政の築城といわれます。

問10

高崎城下は、烏川を背にして築かれた高崎城の東から北にかけて町が形成されました。その一番外側を堀と土居で囲んでいましたが、この防衛施設は何というのでしょうか。

(1) 御備曲輪 おそなえくるわ

(2) 総郭 そうくるわ

(3) 築地土塁 ついでどるい

(4) 遠構え とおがま

〔正解 4〕

●解説

高崎城下は、武家地の他に寺社地や町人町や田圃まで含んだ総郭型城下町に分類されます。その城下を外部と区切った防衛施設は「遠構え」と呼ばれ、幅4メートル前後、深さ約1メートルの堀と、高さ約2メートルの土塁で囲んでいました。北側は赤坂町長松寺裏から本町と成田町の境を東上し、東は東二条通りを南へ進み、市立美術館を西に折れ龍(竜)広寺裏へ続いていました。

問11

市指定史跡の高崎城址三の丸堀と土塁のうち、シンフォニーロードが交差する辺りに残されている防衛上の工夫は全国的にも貴重な史跡です。この遺構は何というのでしょうか。

(1) 馬出 うまだし

(2) 喰違虎口 くいちがいこぐち

(3) 出枿 でます

(4) 堀切 ほりきり

〔正解 3〕

●解説

高崎城三の丸堀は直線のため東門横の堀を凸型に屈折させた「出枿」を設けました。城の出入口である虎口には様々な防御上の工夫がされ、左右または一方の土塁を屈折させ喰い違いさせた喰違虎口、虎口前方に小さな曲輪を付け一旦この曲輪に入城させてから虎口に入らせる馬出などがあります。堀切は開削された溝の一般呼称です。

問12

中山道は1601(慶長6)年頃に創設され順次整備されました。高崎城下では初め本町から椿町へ進み、法華寺に突きあたると右折し通町を
通って南へ進んでいましたが、【 ア 】が本町三丁目で曲げ城下を貫く道
筋に変更しました。また、輸送荷物が増加したため本町だけの継場ではさ
ばききれなくなり、1632(寛永9)年から【 イ 】が本町のほか【 ウ 】
に問屋場を設け、この三か町が日を分けて対応しました。

- ア: (1)井伊直政 (2)酒井家次
(3)戸田康長 (4)松平信吉

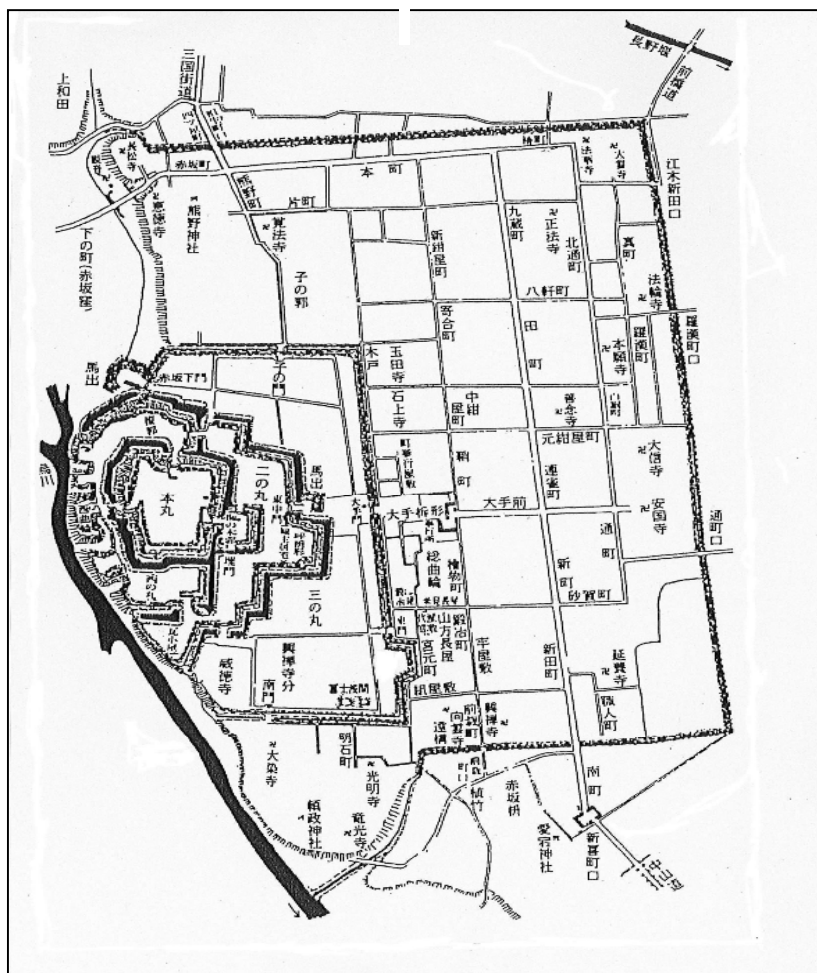
[正解 2]

- イ: (1)安藤重長 (2)諏訪頼永
(3)松平輝貞 (4)間部詮房

[正解 1]

- ウ: (1)九蔵町・田町 (2)九蔵町・連雀町
(3)連雀町・新町(現在あら町) (4)田町・新町(現在あら町)

[正解 4]



山崎一氏作成

高崎城と城下町図より

●解説

中山道が整備拡張された頃の高崎藩主は酒井家次でした。家次が中山道を本町三丁目で曲げ城下中央を通したこともあり、高崎宿は発展します。その後、安藤重長の代になって本町だけであった伝馬（街道の運輸・通信・宿泊などを担当）を、田町と新町に拡充し三伝馬制としました。本町が1日から14日、田町が15日から22日、新町が23日から晦日^{みそか}までを担当しました。

問13

“当国第一繁昌の大市”と称された田町の絹市は、毎月何回開催されたでしょうか。

- (1) 5回 (2) 6回 (3) 10回 (4) 12回

〔正解 2〕

●解説

1690(元禄3)年に、高崎藩主^{あんどうしげひろ}安藤重博は田町に絹の売買を独占する特権を与えました。そのため全国から絹を売買する商人が高崎田町へ集まり、大いに栄えました。一丁目が10日と25日、二丁目が15日と晦日、三丁目が5日と20日の順に1ヵ月に6回の市立てが行なわれて来ましたが、明治時代になると絹市場として常設になります。

問14

徳川6代将軍家宣^{いえのぶ}・7代将軍家継^{いえつぐ}の補佐役であった高崎藩主間部詮房^{まなべあきふさ}が将軍への献上品として使うなど、高崎が全国の名産地であった品は何でしょうか。

- (1) 黒大豆 (2) 煙草^{たばこ} (3) ねぎ (4) 麦落雁^{むぎらくがん}

〔正解 2〕

●解説

『本朝食鑑』^{ほんちようしょっかん}には、高崎は煙草の名産地にあげられ、多胡・甘楽・緑野郡を中心に栽培された煙草は、「館」^{たて}の煙草として全国に知られていました。高崎藩主間部詮房の時代には、絹と共に煙草を将軍への献上品に使っています。大河内松平氏は黒大豆を献上しています。冬ねぎは館林藩の献上品に見られますが、麦落雁は館林の名産品です。

問15

江戸時代の高崎は城下町ではありましたが、流通経済の拠点として関東地方有数の商都として繁栄していました。そのため、商都にふさわしい有力業者が店を構えました。守随家もその一つですが、その職業は次のどれでしょうか。

- (1) 絹買宿 (2) 定飛脚問屋 (3) 伝馬問屋 (4) 秤座

〔正解 4〕

●解説

江戸幕府は計量の正確を期すため、秤の製作・販売・修理や悪秤の没収・秤改めの権利について、東国は江戸の守随家に、西国は京都の神家に管掌させました。流通市場の拡大に伴い需要が増加し、守随家は分家を名古屋と共に高崎に設けます。四代目の三男彦三郎が1699(元禄12)年に開座し、そのことから彦三郎の墓が大信寺にあります。

問16

市重要文化財に指定された、高崎藩お抱えの刀工であった長谷部義重が作った大太刀が奉納されているのはどの神社でしょうか。

- (1) 南町・愛宕神社 (2) 石原町・小祝神社
(3) 柴崎町・進雄神社 (4) 上小塙町・烏子稻荷神社

〔正解 1〕

●解説

現代に知られる高崎の刀工に震鱗子克一と共に長谷部義重がいます。義重は武州川越の在に生まれ、細川正義(江戸時代後期の“新々刀の祖”水心子正秀門下の双壁)に鍛刀を学び、高崎藩お抱え刀工になりました。35歳という若さで急死したため作品が少ない中、作刀した見事な大太刀が南町に建つ愛宕神社に奉納されています。

問17

倉賀野は舟運^{しゅううん}の河岸として流通の拠点でした。次の記述のうち正しいものはどれでしょうか。

- (1) 倉賀野河岸は江戸廻り船が遡航できる最上流の河岸でした。
- (2) 倉賀野河岸の規模は大きく、天明時代の船数は150艘近くありました。
- (3) 倉賀野河岸は倉賀野宿と隣接していたため、河岸問屋が本陣と脇本陣を輪番で担当していました。
- (4) 河岸問屋は自分の船を所持せず、船積み荷物を船持に取次をするのが業務でした。

〔正解 1〕

●解説

倉賀野河岸は江戸廻り船が遡航できる最上流の河岸で、天明時代には54艘の船がありました。河岸問屋は荷主からの依頼を受けて船を手配し、船持に荷物を目的地まで運ばせる船積み荷物の取次が主な業務でしたが、1717(享保2)年に10人いた倉賀野河岸問屋の9人までが船持を兼ねています。本陣と脇本陣は立場が異なり、輪番担当制ではありませんでした。

問18

吉井地域は【 ア 】の後に、菅沼氏、安藤氏、堀田氏などの諸大名の支配を経ましたが、小幡藩・七日市藩などの近隣諸藩領や、旗本の領地が入り組んでいました。一方、関白左大臣鷹司信房の子信平は、徳川氏との縁から将軍家綱より【 イ 】氏を名のることを許されます。その後上野国(碓氷・群馬・緑野・多胡)と上総国から7千石を支配するようになりました。信平の孫信清のぶきよの時代には、更に上野国4郡より3千石が加増されました。信平の孫信発のぶおきは、開国をめぐって大老井伊直弼い い なおすけと対立した水戸藩の徳川【 エ 】えいちつきよに、永蟄居(終身一室で謹慎すること)を命じる大役を果たした人物として知られています。

- ア: (1)徳川家康の関東入部 (2)武田信玄の西上州侵攻
(3)長尾景虎の越山 (4)上杉憲政の越後入り

[正解 1]

- イ: (1)大河内 (2)松平 (3)徳川 (4)吉井

[正解 2]

- ウ: (1)奥平 (2)山名 (3)矢田 (4)小幡

[正解 3]

- エ: (1)頼宣よりのぶ (2)光圀みつくに (3)慶喜よしのぶ (4)斉昭なりあき

[正解 4]

●解説

1590(天正18)年、徳川家康の関東入部の際に、菅沼定利は吉井領など2万石を与えられました。定利は奥三河の出身ですが、その母は奥平氏から出ています。定利の墓碑が玄太寺(吉井町吉井)に保存されています(市指定史跡)。

徳川氏の母体となった松平氏を名乗ることは、将軍家と祖先を共通にするという意味を持ち、譜代の家臣の称号でもありました。

矢田は推定鎌倉街道沿いに位置し、中世の宿があったとされ、菅沼氏は最初に矢田へ入ったと考えられます。現在でも矢田城跡など中世遺構が残されています。

信発(1824(文政7)年～1890(明治23)年)は信平より11代目の藩主で、従四位侍従、津山藩(岡山県)松平氏の出身で吉井藩に養子として迎えられました。幕末の軍制・藩制改革を進めました。

問19

下小鳥町には市指定文化財のいわゆる三国街道の道しるべが残されています。2メートルを超える石柱には

左		右越後	ぬまた
			さはたり
□		いかほ	
□		くさつ	
□		かわらゆ	
道		志ま	
		道	



と刻まれています。□□□に入る地名は次のうちどれでしょうか。

- (1) はるな (2) かねこ (3) やはた (4) ちちふ

〔正解 1〕

●解説

高崎城下の本町一丁目を起点とする三国街道を北上すると、いわゆる「榛名道」との分岐点に三国街道の道しるべが残されています(下小鳥町、市指定文化財)。建立年は不明ですが、石柱に「右越後」と大書し、その下に「ぬまた(沼田)、いかほ(伊香保)、くさつ(草津)、さはたり(沢渡)、志ま(四万)、かわらゆ(川原湯)道」と刻まれています(沼田以外は温泉地なのが興味深い)。

なお問題の「左」には「はるな(榛名)道」と記されています。

問20

中山道の宿場であった新町宿は、上野国と武蔵国を分ける【 ア 】に臨んでいましたが、古くより荒れ川で、出水毎に川瀬道筋を変える通行の難所でした。

そこで、1815(文化12)年、夜道の旅人など通行人の難儀を解消すべく、【 ア 】の兩岸に石灯籠を建て毎夜火を点じて通行人の安全を計ることにしました。新町宿側の石灯籠は宿内外からの寄進により財源を捻出しました。寄附者の中には、草津への旅の途中に立ち寄った【 イ 】もいました。

ア: (1)利根川 (2)井野川 (3)滝川 (4)神流川^{かんながわ}

〔正解 4〕

イ: (1)歌川広重 (2)松尾芭蕉
(3)小林一茶 (4)伊能忠敬

〔正解 3〕

●解説

1810(文化7)年5月、中山道を下ってきた小林一茶は、新町宿高瀬屋に宿泊します。その夜、専福寺の提灯を持った者が現れ、神流川岸に建てる石灯籠への寄進を強要します。懷中が乏しい一茶は何度も断るのですが、とうとう根負けして十二文を寄附します。このことは一茶にとって痛恨事だったらしく、「手枕や小言いうても来る蜚」という句をこの時残しています。旅籠屋高瀬屋跡には一茶文学碑が建てられ、その碑面にはその部分が刻まれています。

問21

国指定史跡箕輪城跡は、榛名山東南麓に立地する中世末から近世初頭の【 ア 】です。【 イ 】上杉氏の配下であった地元豪族の長野氏によって、西暦1500年前後に築城され、西上州支配の拠点となりました。永禄年間からは、隣国の武田信玄がたびたび西上州に侵攻するようになり、1566(永禄9)年ついに落城しました。その後も時代の流れに従って、武田氏→【 ウ 】→後北条氏→徳川氏と支配者が移り変わりましたが、1598(慶長3)年には高崎への移転によって廃城となりました。

ア: (1)山城 (2)平城 (3)平山城 (4)丘城

〔正解 3〕

イ: (1)足利将軍 (2)鎌倉公方
(3)奥州探題 (4)関東管領

〔正解 4〕

ウ: (1)織田氏 (2)上杉氏 (3)足利氏 (4)伊達氏

〔正解 1〕

●解説

西上州の戦略拠点であった箕輪城は、戦国大名たちの攻防の舞台となり、勢力が入れ替わるたびに各大名の有力な家臣が配置されました。武田期には内藤昌豊(武田四天王の一人)、織田期には滝川一益(織田四天王の一人)、後北条期には北条氏邦(4代当主・北条氏政の弟)、徳川期には井伊直政(徳川四天王の一人)が封じられており、箕輪城の重要な位置づけをよく示しています。

問22

高崎の市街地を通過して田園地帯を流れる長野堰は、烏川と【 ア 】にはさまれた水利に恵まれない台地に水を供給するために作られました。榛名町本郷（現高崎市本郷町）の烏川を取水口としています。

この長野堰は高崎の重要な用水として農業には欠かせない受益地の広い灌漑用水であり、明治時代には飲料水としても使われました。その後【 イ 】業、製糸業、製紙業などがこの用水を利用して高崎の発展と密接にかかわっていきます。

高崎城址のお濠の水も長野堰の水を引いていますが、長野堰の取水する地点と高崎市役所の標高差は約12メートルです。

ア： (1) 白川 (2) 井野川 (3) 唐沢川 (4) 利根川

〔正解 2〕

イ： (1) 染色 (2) 精米 (3) 養鶏 (4) 養豚

〔正解 1〕

●解説

時期は不明ですが、長野氏が開いたと伝えられる用水で、烏川と井野川にはさまれた台地の高崎に水を供給しました。長野堰の恩恵を受けたのは広大な農村地域だけでなく、製糸、製粉、製紙、染色などで高崎の基盤の原点のようなものです。

問23

1876（明治9）年、熊谷県が廃され、上野国の地域を県域とする第二次群馬県が成立し、県庁の所在地は高崎になりました。県庁を置くのに最適な高崎城は、陸軍に接收されていたため、仕方なく県政事務を分散して行うことになりました。この時、群馬県仮庁となったお寺はどれでしょうか。

(1) 石上寺 (2) 長松寺 (3) 安国寺 (4) 徳昌寺

〔正解 3〕

●解説

第二次群馬県が成立したとき、県政は多端を極めていました。地租改正の事務の実行、学制に基づく学校問題、徴兵令による仕事などでした。県庁に最適の城は軍隊が使っていました。県政事務を各所に分散してやらざるを得なくなりました。そのため不便でした。

問24

現在は名称だけ残り、行政制度として機能しなくなった「郡」ですが、以前は郡長、郡役所、郡議会が置かれ、地方行政に一定の働きをしていました。次の郡のうち、今の高崎市域が所属していないのはどれでしょうか。

- (1) 片岡郡 (2) 多野郡 (3) 碓氷郡 (4) 北勢多郡

〔正解 4〕

●解説

群馬県下では一番多いときは17の郡がありました。南北や東西などの名称が頭についたのもありました。明治政府が中央集権的地方制度を確立するためとった制度で、古代中国の郡県制度にならったものと思われませんが、日本の地方行政制度は県郡制度でした。今でも郡役所の遺構が残っているところがあります。

問25

明治時代の初期、自由民権運動が起こりました。国会開設・地租の軽減・条約改正を求める運動でした。高崎地域の人々もこれに加わり、民権政社を結成しました。高崎に結成された政社はどれでしょうか。

- (1) 立志社 (2) 有信社 (3) 同志社 (4) 講談社

〔正解 2〕

●解説

明治政府の有司専制(藩閥専制)政治に対して、公議世論を重んじ、国会の開設を求める運動が起こりました。日本の各地で政社が結成され、運動は盛り上がりました。高崎には士族を中心とした有信社が結成され、国会開設請願運動を繰り広げました。

問26

高崎は以前軍隊が置かれていました。地域から若者が徴集され、青年の一時期を兵営の中で過ごしました。高崎に置かれた歩兵第十五連隊についての記述で、間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 1884(明治17)年、日本陸軍の大規模な軍備増強によって、10の連隊が新しく設置されます。その時設置されたのが、高崎歩兵第十五連隊です。
- (2) 自由民権運動の激化事件である秩父事件が起こったとき、高崎歩兵第十五連隊は、碓氷峠を越えて佐久へ出撃し、東馬流で困民軍と銃撃戦を交えました。
- (3) 1907(明治40)年、足尾銅山で労働条件改善の運動が起こり、混乱状態になりました。労使紛争に軍隊が出向くのは良くないというので、高崎歩兵第十五連隊は出陣しませんでした。
- (4) 明治時代の高崎歩兵第十五連隊は、栄養の偏りから脚気患者が多く発生したり、民間で発生したコレラやチフスが兵営に伝染し、病勢が猛烈を極めたりしたことがありました。

〔正解 3〕

●解説

高崎歩兵第十五連隊は軍事上重要な位置付けをもって設置されました。群馬県・長野県・埼玉県出身の兵士が兵営で暮らしました。国防上の任務を果たすことが期待されていたのですが、国内の治安の維持にも従事したのです。高崎は水が悪く、兵士の健康を維持するのが大変でした。

問27

高崎市域は、製粉業が盛んで、大正期に大きな製粉工場が二つもつくられました。製粉に関する次の文章で、間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 高崎市域は、以前から小麦の生産地でした。
- (2) 交通が便利なので、原料小麦や粉製品などの輸送に便利でした。
- (3) 高崎市域は米・野菜の生産や養蚕業が盛んですが、小麦の生産はまったく行いませんでした。
- (4) 昔から水車製粉があり、製粉業の基盤がありました。

〔正解 3〕

●解説

高崎市域は、米の裏作として小麦の生産が盛んで、日常の食事に「うどん」「おきりこみ」「すいとん」など、粉ものを食べていました。水車製粉も盛んで、大正期になると、規模の大きな製粉業を起こす機運が高まりました。小麦の生産地であること、原料や製品の輸送に便利であること、当時企業を起こす意欲が高かったことなどが理由でした。

問28

高崎市はこれまで3回にわたる市史の編さん・発行をしています。その最初の編さん事業は、1923(大正12)年7月、時の市長【 ア 】が計画、やまのうちとめ や山内留弥を起用して史料の収集・編さんに当り、たんげちんぞう あまだたきじ丹下鎮象や天田瀧治が校正、補正に尽力しました。1925(大正14)年、脱稿しましたが、なお正確を期すために時間を要し『高崎市史(上)(下)』2巻が完成したのは【 イ 】でした。

- ア: (1) 矢島八郎 (2) 土谷全次
(3) 久保田宗太郎 (4) 小島弘一

〔正解 2〕

- イ: (1) 1927(昭和2)年 (2) 1929(昭和4)年
(3) 1931(昭和6)年 (4) 1933(昭和8)年

〔正解 1〕

●解説

最初の高崎市史編さん事業は、1923(大正12)年7月、時の市長・土谷全次が計画。土谷は秋田県の藩医家の生まれで、上京後、北里研究所に関係しました。1899(明治32)年以降、群馬県の県会議員や高崎市議会議員を経て、1921(大正10)年、第6代の高崎市長となり、都市計画、市営住宅、教育(市立実践女学校の開校)などに尽力。市史編さんには、助役の関吉晴(中之条出身)や当時の市教務課長であった天田瀧治らの助力がありました。

山内留弥(下横町)は独力で市史原稿を編さんし、特に人物編では維新前22人、維新後27人を挙げています。脱稿後の時間を要し、7代市長・青木道の序言は1926(大正15年)8月の日付で、発行は上巻が1927(昭和2)年4月1日、下巻は同年8月15日でした。

問29

高崎市街地の西部に位置する丘陵「観音山」の名称は、【 ア 】年前に【 イ 】が京都清水寺から勧請し建立したと伝えられる石原町の清水寺の本尊【 ウ 】に由来します。観音堂の回廊には幕末の高崎を代表する絵師・一椿斎芳輝いっちゃんさいよしてるの絵馬が掲げられ、境内に建つ【 エ 】には下仁田戦争で戦死した高崎藩関係者の慰霊木像36体が安置されています。

- ア: (1)約800 (2)約1000
(3)約1200 (4)約1400

〔正解 3〕

- イ: (1)坂上田村麻呂さかのうえのたむらろ (2)平 将門たいらの まさかど
(3)藤原秀郷ふじわらひでさと (4)源 経基みなもと つねもと

〔正解 1〕

- ウ: (1)十一面観音 (2)聖観音
(3)千手観音 (4)如意輪観音

〔正解 3〕

- エ: (1)右京堂 (2)仙岳堂 (3)田村堂 (4)忠魂堂

〔正解 3〕

●解説

約1200年前の808(大同3)年に坂上田村麻呂が創始した清水寺の本尊は千手観音で、寺の建つ丘陵はこの観音様に因んで観音山と呼ばれるようになりました。幕末に高崎藩が幕府から水戸天狗党の追討命令を受け、甘楽郡下仁田で戦闘に及びました。その時戦死した36人を慰霊する木像が、境内に建つ田村麻呂を祀る田村堂に安置されています。

問30

1884(明治17)年に日本最初の【 ア 】鉄道として開業した高崎線は、生糸を横浜港に運ぶ中核的役割を果たし「生糸鉄道」と呼ばれたほどでした。翌年には鉄路は横川まで伸び、5年後には両毛線が全通、【 イ 】も1897(明治30)年に営業を始めています。まさに日本のシルクロードでした。現在も、【 ウ 】の貨物基地は北関東の物流・エネルギー基地として、東日本大震災の際にも大きな力を発揮しました。今年度末には上野・東京ラインが開通、東京駅への直接乗り入れが始まります。北陸新幹線の【 エ 】延伸も同時期です。内陸の港と言われる群馬・高崎に対する期待はますます高まっています。

ア: (1)官営 (2)民営 (3)国有 (4)軽便

〔正解 2〕

イ: (1)上信電鉄 (2)上毛電鉄
(3)伊香保電鉄 (4)草軽電鉄

〔正解 1〕

ウ: (1)下之城 (2)倉賀野 (3)八幡 (4)日高

〔正解 2〕

エ: (1)富山 (2)金沢 (3)福井 (4)敦賀

〔正解 2〕

●解説

1884(明治17)年に日本最初の民営鉄道として開業した高崎線は、翌年、赤羽―板橋―目白―新宿―渋谷―品川の路線を新設・接続させて、殖産興業・外貨獲得の柱である生糸を横浜港に運ぶ中核的役割を果たし、「生糸鉄道」と呼ばれたほどでした。このラインが今の湘南・新宿ラインと重なることは興味深いことですが、高崎をターミナルとして、日本近代化の大動脈が形成されていきました。

なお、八王子周辺が養蚕地帯であることから八高線をシルクロードと考えがちですが、八高線は1931(昭和6)年から1934(昭和9)年にかけて開通した比較的新しい路線です。

問31

道路交通は時代によって変化して行きました。高崎市域も同じように変化しました。道路交通について記述した次の文章で、間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 明治の新時代になると、駕籠^{かご}にかわって人力車が使われるようになりました。
- (2) 多くの人を輸送するために、馬車が使われるようになりました。
- (3) 自動車が入るようになると、明治期から使われていた馬車(道路馬車)が次第に姿を消し、自動車にかわっていきました。
- (4) 自転車が使われるようになりましたが、ほとんど普及しませんでした。

〔正解 4〕

●解説

道路交通は時代の変化と道路事情によって大きく変化します。昔の駕籠^{かご}にかわって人力車が使われ、かなりの距離を人力車で行くこともありました。多くの人を運ぶために馬車が使われます。馬車には道路を走る馬車と、軌道の上を走る鉄道馬車がありました。電気が使われるようになると、鉄道馬車は電車になりました。自転車は便利で、いろいろな所へ、自由に行けたので大いに普及しました。

問32

高崎地域は、横浜開港以後、急速に繭^{まゆ}・【 ア 】の生産が盛んになり、水はけの良い山麓や台地などが、一面の桑畑となりました。

蚕を飼うため農家の作りも工夫され、榛名山麓の平屋の農家では、屋根裏を養蚕作業に使うため、切妻^{きりづま}屋根の南側中央部を切り落とし、そこに庇^{ひさし}をつけた【 イ 】の養蚕農家が現れました。その後、二階建て養蚕農家が増えて行きました。蚕はきれいな空気が必要です。空気の流通を良くするため、二階の屋根の上に【 ウ 】が設けられました。やがて、二階建てでこのような施設をもった養蚕農家が一般的になりました。

蚕は4回脱皮して、繭をつくります。この時、養蚕農家では蚕が繭をつくりやすいように、【 エ 】を置いてやります。そこに蚕は繭をつくりました。繭を煮て糸を繰り取る道具が【 オ 】で、高崎地域では機械製糸に移る前、盛んに使われ、品質の良い生糸の大量生産に役立ちました。

ア: (1)茶 (2)生糸 (3)米 (4)木綿

〔正解 2〕

イ: (1)堅穴式^{たてあなしき} (2)寄棟型^{よせむねがた} (3)高床式^{たかゆかしき} (4)榛名型^{はるながた}

〔正解 4〕

ウ: (1)檣^{やぐら} (2)屋台 (3)天守閣^{てんしゅかく} (4)塔

〔正解 1〕

エ: (1)むしろ (2)まぶし (3)箱 (4)籠^{かご}

〔正解 2〕

オ: (1)胴繰器^{どうぐりき} (2)手繰^{てぐり} (3)座繰器^{ざぐりき} (4)牛首^{うしくび}

〔正解 3〕

●解説

横浜が開港して一番売れたのは生糸で、蚕種・茶なども売れました。これらのものが日本の重要な輸出品になりました。

これまでの農家の造りでは、養蚕の作業空間が足らなくなり、切妻屋根の南前面を切り落として、屋根裏を養蚕作業に使えるようにしました。これが赤城山麓に多かった赤城型養蚕民家です。榛名山麓では切妻屋根を切り落としたところに庇^{ひし}をつけ、作業場を広くしました。これが榛名型養蚕民家です。

蚕を飼うとき清涼な空気が必要です。空気の流通を良くするため、屋根の上に檣^{やぐら}を設けました。檣は地域によっていろいろな呼び名で呼ばれました。

蚕は生糸を吐いて巢(繭)をつくります。農家ではひとつの蚕がひとつの繭をつくるように、まぶしを置いてこれを助けます。まぶしには、ぼやまぶし、竹まぶし、藁まぶし、回転まぶしなどがあります。

繭から糸を繰り取るとき、使われたのが座繰器です。歯車を使って回転数を増やしスピードを上げました。左手でハンドルを持ち、右手で繭を煮る鍋や生糸の繰り取りを調節しました。

問33

生糸輸出が盛んな頃、高崎地域の農家の大部分は養蚕業を営んでいました。比較的多くの農家が採用した蚕を飼う方法は、次の飼育法のうちどれでしょうか。

- (1)いぶし飼い (2)清^{せい}温^{おん}育^{いく} (3)冷^{れい}涼^{りょう}育^{いく} (4)はなし飼い

〔正解 2〕

●解説

蚕は気温の変化や空気^{せいだく}の清濁に配慮して飼われました。気温の低いときは炭火で暖め、空気が汚れているときは窓を開け、新鮮な空気を入れてやるなどして注意深く飼われました。世界遺産「高山社」の蚕飼育法が清温育です。

問34

富岡製糸場創業から5年後、新町屑糸紡績所(内務省勸業寮屑糸紡績所)が創業します。

製糸場は繭から【 ア 】を生産しますが、屑糸紡績所は【 ア 】を生産する過程で発生する屑繭・屑糸を原料として【 イ 】を生産し商品化します。

屑糸紡績所ができる以前の屑繭は、真綿として利用される程度で、外国へ安く輸出されていたので、国内で【 イ 】を製造する紡績が重要であると官営工場が新町に建設されました。

工場は日本人の大工、山添喜三郎が【 ウ 】万博開催中のヨーロッパを訪問し学んだ事がもとになっており、設計から施工まで純国産の工場の第1号として、「富岡製糸場と絹産業遺産群」に並ぶ価値があるといわれています。

- ア: (1)生糸 (2)絹糸 (3)木綿糸 (4)麻糸

〔正解 1〕

- イ: (1)生糸 (2)絹糸 (3)木綿糸 (4)麻糸

〔正解 2〕

- ウ: (1)ウィーン (2)ローマ (3)ロンドン (4)ベルリン

〔正解 1〕

●解説

生糸は蚕の繭から取った繊維を合わせただけで、まだ撚^よっていないものです。絹糸は屑繭の絹繊維を短繊維にして紡績したものです。

岩倉具視を全権大使とした使節団は、1871(明治4)年に出発、12カ国を視察し、1873(明治6)年に帰国しました。その途中、ウィーン万博を視察しました。

問35

高崎市は1902(明治35)年に本格的な浄水場を造ることを決定し、1910(明治43)年に給水人口5万人を想定した上水道が敷設されました。この浄水場はどこにつくられたでしょうか。

- (1) 若田町 (2) 剣崎町 (3) 鼻高町 (4) 乗附町

〔正解 2〕

●解説

高崎市は、1910(明治43)年に剣崎町に浄水場を建設し、本格的な水道事業を創設しました。これは県内で初めて造られた浄水場で、わが国でも20番目のことでした。上里見町にある神山取水場から烏川の水を取り入れ、高低差を利用して浄水場に水を引き入れています。浄水方法に「砂ろ過」と「生物ろ過」を組み合わせた「緩速ろ過方式」を採用したので、良質な水が作り出されることで知られています。剣崎浄水場は、現在でも一日5,500立方メートルの給水能力を持っており、今なお現役で活躍しています。

問36

1936(昭和11)年10月に白衣大観音が完成し、観光事業に対する市民の期待が寄せられ、1937(昭和12)年には高崎観光協会が設立されました。高崎観光協会の設立目的は二つありました。一つは白衣大観音による観光ですが、もう一つは何だったのでしょうか。

- (1) 電気館や高盛座など当時大人気だった映画や興行による観光振興
- (2) 1940(昭和15)年に開催が予定されていた東京オリンピックでの外国人観光客の誘致
- (3) 観音山に観光客を誘致するための駐車場や道路の造成
- (4) 白衣大観音を護持するための寺院を観音山に誘致

〔正解 2〕

●解説

白衣大観音が建立された1936(昭和11)年に、国際オリンピック委員会において1940(昭和15)年に東京市(現・東京都区部)でオリンピックが開催されることが決定しました。

こうして観光振興への機運が高まる中、1937(昭和12)年に高崎観光協会が設立されました。翌年には、吉永得像(草玄)が描いた白衣大観音像を高崎の観光ポスター第一号に選定して、国内外からの観光客の誘致に努めました。

しかし、東京オリンピックは日中戦争の影響などから実現には至らず、幻のオリンピックとなりました。

問37

JA高崎ハム株式会社の前身は、【 ア 】として1937(昭和12)年に設立されました。その際、高崎市から、「高崎に工場を建設し高崎ハムと命名する」「汽車の窓から見えるように【 イ 】高崎ハムと書く」という条件で末広町に土地が提供されたといわれています。

- ア: (1)東日本畜産加工組合 (2)群馬畜肉加工組合
(3)日本畜産加工組合 (4)関東畜肉加工組合

〔正解 2〕

- イ: (1)大きな看板に (2)屋根に大きく
(3)壁に大きく (4)フェンスに大きく

〔正解 2〕

●解説

高崎ハムは、現在の高崎市総合福祉センターのある末広町で1938(昭和13)年に創業しました。工場は国鉄の上越線、信越線の車窓から良く見え、屋根に大きく「高崎ハム」と書かれていました。「高崎ハム」という商標はこの時からのものです。

1958(昭和33)年、新工場を建設しますが大幅な業績の伸びによって狭くなったため、1995(平成7)年、八幡原町へ移転し現在に至ります。

問38

明治の新時代に入り、貿易が盛んになると銀行が設立されました。群馬県に最初に開設されたのが第二国立銀行高崎支店です。1875(明治8)年1月のことです。第二国立銀行の本店は横浜に置かれ、支店は高崎のほか東京・横須賀だけでした。交通の便がよく商業が盛んで【 ア 】が行われている高崎を重視し、支店を置いたのです。第二国立銀行の副頭取が高崎出身の茂木惣兵衛^{もぎ そうべえ}であったことも関係がありました。

第二国立銀行は、国立銀行条例に準拠^{じゅんきょ}し、正貨兌換^{せい か だ かん}の国立銀行券を発行、殖産興業の資金を供給していますが、横浜為替会社を改組してつくられた【 イ 】の銀行でした。

ア: (1)綿花取引 (2)生糸取引 (3)米取引 (4)株取引

〔正解 2〕

イ: (1)外商組合営 (2)省営 (3)県営 (4)民営

〔正解 4〕

●解説

第二国立銀行は、横浜に本店を置きました。生糸貿易の拡大、生糸の生産振興を目的にしたので、商業が盛んで生糸取引が行われている高崎に目を向け、支店を置きました。支店は高崎・東京・横須賀だけでしたので、高崎が重視されたのがわかります。また生糸貿易商として活躍した高崎出身の茂木惣兵衛^{もぎ そうべえ}が副頭取であったことも関係がありました。

明治の初期、国立銀行という名の銀行が153行も設立されましたが、国立銀行条例にならって(国の法令にならって)設立された銀行という意味でした。経営はいずれも民間経営でした。

問39

日本のプロフェッショナルのオーケストラ(固定給与を支給しているメンバーによる二管編成以上のオーケストラ)は25団体あります。【 ア 】に9団体、政令指定都市に13団体、そのほかは高崎を本拠地とする群馬交響楽団とアンサンブル金沢と【 イ 】交響楽団が存在します。

群馬交響楽団の楽団員は音楽家としての自主性が尊重されており、群馬交響楽団としての演奏だけでなく、自主的に独自の演奏活動ができます。

このように、高崎はクラシック音楽の演奏会の回数も多く、群馬交響楽団は「【 ウ 】高崎」というキャッチコピーの中核となっています。

- ア: (1) 東京 (2) 首都圏
(3) 東京・大阪 (4) 東京・大阪・京都

[正解 1]

- イ: (1) 宇都宮 (2) 甲府 (3) 長野 (4) 山形

[正解 4]

- ウ: (1) 音楽のあふれる街 (2) 音楽のある街
(3) 音楽家が育つ街 (4) 音楽都市

[正解 2]

●解説

日本のプロオーケストラは28団体とも33団体ともいわれています。東京には、NHK 交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティ管弦楽団の9団体が集中しています。プロの音楽家を集めてオーケストラを作り、明日にでも演奏会を開くことが出来る音楽状況ですが、山形・金沢・高崎では地道に自分たちの音楽を創造して、地域に愛され活動しています。

問40

毎年8月に高崎の中心部を主会場として開催される「高崎まつり」は、1970(昭和45)年までは市が主催して5年毎に山車まつりが開かれていました。しかし、オイルショックの影響もあって市主催では開催しないことがわかり、【 ア 】が中心となって市民全体で自主的に祭りを実行しようということになったのが始まりです。

初期は、【 イ 】という名称で【 ア 】が交替で主管し、後に「高崎まつり」と名称が替わり、今年は通算で40回となりました。

- ア: (1) 商工会議所 (2) 青年団体
(3) 高崎実業組合 (4) 高崎各業組合

〔正解 2〕

- イ: (1) 高崎芸能祭り (2) 高崎市民祭り
(3) 高崎商工祭り (4) 高崎ふるさと祭り

〔正解 4〕

●解説

お盆に開催するのだから「高崎ふるさと祭り」というのはどうだろうか、ということで名称が決まり、「みんなで祝おう、市政75周年」というキャッチコピーで、高崎青年会議所が主管して始まりました。初期には高崎青年経営者協議会、高崎商店研究会(現在の TSK)が交替で主管しました。今日の「高崎まつり」に青年団体が深く関わっている伝統は、ここから始まりました。

問41

現在、高崎市内には58の公立小学校がありますが、このうち最も新しく開校したのは、次のうちどの小学校でしょうか。

- (1) 桜山小学校 (2) 鼻高小学校
(3) 箕郷東小学校 (4) 南陽台小学校

〔正解 1〕

●解説

高崎市立桜山小学校は、2009(平成21)年4月に、近隣の児童増に対応するために堤ヶ岡小学校から分離して開校した高崎市で最も新しい小学校です。現在、桜山小学校には、棟高町の一部、菅谷町、中泉町、福島町の児童約600人が通い学んでいます。

問42

群馬県内初のコミュニティFMの放送局として1997(平成9)年に開局したラジオ高崎の周波数として、正しいものはどれでしょうか。

- (1) 76. 2メガヘルツ (2) 79. 5メガヘルツ
(3) 81. 6メガヘルツ (4) 86. 3メガヘルツ

〔正解 1〕

●解説

ラジオ高崎は、1997(平成9)年に、群馬県内では初めてのコミュニティFM放送局として開局しました。高崎市とその周辺地域を聴取エリアに
 して、2009(平成21)年には、倉淵中継局も開局しています。

八島町の本社内のスタジオのほか、2011(平成23)年4月には、高崎
 駅東口にサテライトスタジオをオープン。多くの番組を生放送し、市民に
 ささまざまな情報を提供しています。

問43

高崎藩松平(大河内)家では、藩の重役にして藤原定家の流れをくむ
 冷泉為村門下の最も優れた歌人【 ア 】がいたこともあり、藩主をはじめ
 多くの藩士が和歌を嗜みました。藩主は遠祖である【 イ 】の遠忌の際
 に、公卿や大名を集め詠んだ和歌の奉納を行なうなど堂上派歌壇の中心
 をなしていました。大河内家10代藩主の輝声^{てるな}が代々の藩主の集めた13巻
 の連歌を一冊に整理した諸大家連歌帖^{しよたいかれんがじょう}は、群馬県の重要文化財に指定
 されています。

- ア: (1) 飯塚久敏^{いいづかひさとし} (2) 富岡正美^{とみおかまさよし} (3) 宮部義正^{みやべよしまさ} (4) 横浜正倫^{よこはまさとも}

〔正解 3〕

- イ: (1) 源 義家^{みなもとよしいえ} (2) 源 頼光^{みなもとよりみつ} (3) 源 頼政^{みなもとよりまさ} (4) 源 義国^{みなもとよしくに}

〔正解 3〕

●解説

江戸時代中期に幕府の老中などを歴任した高崎藩主松平輝高^{まつだいらてるたか}と、歌
 道宗匠冷泉為村の門下第一と言われた藩の重役宮部義正は、幕臣を
 中心に形成された堂上派歌壇の中核的存在でした。この様な関係から、
 高崎藩主大河内松平家の遠祖源頼政を祀る頼政神社には、群馬県重
 文の諸大家連歌帖や頼政卿遠忌奉納和歌などが多数伝存しています。

問44

小栗上野介^{ただまさ}忠順は【 ア 】の批准交換使節として、米艦ポーハタン号に乗り太平洋を渡り批准の任務を果たしました。同時に咸臨丸^{かんりんまる}で渡米した勝海舟は日本に帰ることになりますが、小栗は大西洋を渡り地球を一周して日本に帰りました。帰国後、外国奉行・海軍奉行・【 イ 】などの要職を歴任し、【 ウ 】に造船所の建設等、日本の近代化のために活躍しました。

- ア: (1) 日米和親条約 (2) 日米修好通商条約
(3) 日米安全保障条約 (4) 日米平和友好条約

〔正解 2〕

- イ: (1) 勘定奉行 (2) 寺社奉行
(3) 道中奉行 (4) 遠国奉行

〔正解 1〕

- ウ: (1) 横須賀 (2) 横浜 (3) 川崎 (4) お台場

〔正解 1〕

●解説

小栗は大政奉還当時、勘定奉行職にありました。当時の幕府御用金の金蔵は空だったので、小栗と関連して埋蔵金伝説が赤城山などの上州にあるようです。

問45

今年生誕【 ア 】周年、没後90年を迎えた山村暮鳥は、現在の【 イ 】小学校出身で、同校の校歌には「暮鳥のころ だきしめて 大きなゆめを そだてよう」と歌われています。

上毛野はにわの里公園にある暮鳥の詩碑「風景 純銀もざいく」は、「いちめんの【 ウ 】」が繰り返され印象的です。暮鳥の詩は、小学校の国語の教科書に掲載されているものもあります。

ア: (1)150 (2)140 (3)130 (4)120

〔正解 3〕

イ: (1)金古 (2)国府 (3)上郊^{かみさと} (4)堤ヶ岡

〔正解 4〕

ウ: (1)こすもす (2)なのはな
(3)くさはら (4)むぎのほ

〔正解 2〕

●解説

山村暮鳥(本名土田八九十^{はくじゅう})は、1884(明治17)年^{むな}に西群馬郡棟高村^{だか}(現高崎市棟高町)に生まれました。郷里の堤ヶ岡尋常小学校教員時代に、前橋の聖マッテア教会の英話夜学校に通い洗礼を受けます。その後、伝道師として秋田、平、水戸などで布教を行いました。

「風景 純銀もざいく」が収められた詩集『聖三稜玻璃^{せいさんりょうはり}』では、それまでの日本にはない独創的な形式で、近代詩の変革に大きな役割を果たしました。晩年は茨城県大洗町で、詩集や童謡・童話などを数多く残し、1924(大正13)年12月8日に同地で永眠しました。ちなみに、土屋文明の命日も12月8日です。

問46

きょうがい
境涯の俳人として知られる村上鬼城は、父の仕事のために8歳の時に高崎に移り住み、【 ア 】として働く傍らで、正岡子規や高浜虚子に俳句を学び、やがて『【 イ 】』同人となって、大正期における代表的俳人として活躍し、数多くの優れた作品を残しました。倉賀野町の養報寺に建つ句碑に刻まれる「小鳥この頃音もさせずに来て居りぬ」からは【 ウ 】に悩む鬼城の思いが伝わってきます。

ア： (1) 司法代書人 (2) 教師 (3) 公証人 (4) 医師

〔正解 1〕

イ： (1) 麻^{あさ}苧^を (2) ホトギス
(3) 馬^{あし}酔^び木 (4) ウグイス

〔正解 2〕

ウ： (1) 結核 (2) 心臓病 (3) 弱視 (4) 難聴

〔正解 4〕

●解説

村上鬼城(1865(慶応元)年～1938(昭和13)年)は、鳥取藩士の子として江戸に生まれ、8歳のときに高崎に移り住みます。はじめ軍人を志しますが、耳疾(難聴)のために断念し、高崎区構内代書人(司法代書人・現在の司法書士)となり、以後、高崎市でその一生を過ごしました。その傍らで正岡子規や高浜虚子に俳句を学び、やがて『ホトギス』同人となって、俳人、撰者として大正期の俳壇で活躍し、境涯の俳人と呼ばれました。

倉賀野町の養報寺に建つ句碑は、1924(大正13)年に建てられた鬼城最初の句碑で、高崎市指定重要文化財となっています。また、若松町の龍(竜)広寺に眠る鬼城の墓は、高崎市指定史跡となっています。

問47

土屋文明は、現在の高崎市【 ア 】に生まれ、高崎中学校(現高崎高等学校)卒業後、第一高等学校、東京帝国大学(現東京大学)へ進みました。1917(大正6)年から日本を代表する短歌結社誌『【 イ 】』の選者として活躍し、1930(昭和5)年からは編集発行人となりました。文明は生涯を通じ【 ウ 】の研究を行い、多数の著書を残しています。これらの功績により、1986(昭和61)年に文化勲章を受賞しました。

1990(平成2)年に文明が100歳になるのを祝い、群馬町(当時)が歌碑(下段写真)を建てました。この歌碑は、母校の【 エ 】小学校にある文明自筆の色紙の文字で刻まれています。

- ア: (1)小八木町 (2)浜川町
(3)保渡^{ほどた}田町 (4)箕郷町富岡

[正解 3]

- イ: (1)青踏^{せいとう} (2)アララギ
(3)新思潮 (4)マヴォ

[正解 2]

- ウ: (1)万葉集 (2)古今和歌集
(3)新古今和歌集 (4)千載和歌集

[正解 1]

- エ: (1)中川 (2)長野 (3)上郊^{かみさと} (4)車郷^{くるまさと}

[正解 3]



上毛野はにわの里公園内にある歌碑

●解説

土屋文明は、1890(明治23)年に西群馬郡上郊村保渡田(現高崎市保渡田町)に生まれました。長らく東京の南青山に暮らしましたが、終生ふるさとを思い続け、その時々短歌を詠んでいます。

村の名といへど百年たもたぬかなくなりてゆく群馬郡上郊村

(『青南集』)

故郷の山の写真を引きのばし雲ある空にこひつつぞ居る

(『少安集』)

文明は、文化功労者、文化勲章を受賞し、その後、東京都名誉都民、群馬県名誉県民になりましたが、1988(昭和63)年9月に群馬町(当時)の名誉町民になったことを最も喜んだと言われています。生前、自身の歌碑を造ることを許さなかった文明が唯一認めた歌碑が、保渡田町の上毛野はにわの里公園内にあります。

問48

現在の高崎市吉井町岩崎出身の山崎種二が創業者のヤマタネグループが、1998(平成10)年に高崎駅東口に高崎タワー美術館を開館しました。しかし、2001(平成13)年に閉館したため、高崎市がコレクションの寄託を受け、高崎市タワー美術館として運営を引き継ぎました。種二のコレクションは、どのような分野の芸術だったのでしょうか。

- (1)西洋画 (2)日本画 (3)浮世絵 (4)現代美術

〔正解 2〕

●解説

山崎種二は、横山大観、川合玉堂、上村松園などの日本画家との親交から、多くの優れた日本画作品を収集したコレクターとして知られています。1966(昭和41)年には、近・現代日本画専門の山種美術館を設立しました。

ヤマタネグループが運営していた高崎タワー美術館は、2001(平成13)年に新たに高崎市の施設として開館しました。コレクションの中心は、近・現代の日本画です。

問49

高崎市内には著名な建築家の建てた建築物が点在します。群馬音楽センターは、世界的建築家で日本近代建築に大きな影響を与えた【 ア 】が設計しました。岩鼻町の群馬の森のなかにある群馬県立近代美術館は、ポストモダンの建築家として有名な【 イ 】の設計で、彼は1974(昭和49)年に近代美術館の設計によって日本建築学会賞を受賞しました。

- ア: (1) ジョサイア・コンドル (2) ブルーノ・タウト
(3) アントニン・レーモンド (4) フランク・ロイド・ライト

〔正解 3〕

- イ: (1) 磯崎 ^{いそざき}新 ^{あらた}
(2) 大高 ^{おおたか}正人 ^{まさひと}
(3) 丹下 ^{たんげ}健三 ^{けんぞう}
(4) 安藤 ^{あんどう}忠雄 ^{ただお}

〔正解 1〕

●解説

群馬音楽センターの設計者は、日本の近代建築に大きな影響を与えたアントニン・レーモンドです。その独特な外観は、折板構造(不整形折面架板構造)によるもので、「音楽のある街・高崎」のシンボリックな建物となっています。

群馬県立近代美術館は、磯崎新の設計です。美術館設立委員のうち井上房一郎は磯崎新を、土方定一は大高正人を、河北倫明は槇文彦を推薦し、最終的に磯崎の設計案に決まりました。隣の群馬県立歴史博物館は大高正人の設計によります。

問50

崔華國(志賀郁夫)は、映画「ここに泉あり」を見て感動し高崎に転居し、茶房『あすなろ』を営みました。『あすなろ』は高崎の様々な分野の文化活動に影響を与えたと言われています。間違っているのはどれでしょうか。

- (1) 現在、NPO法人が運営しているCafe『あすなろ』は以前さやもーるにあった茶房『あすなろ』と違う場所です。
- (2) 詩人を招いて詩の朗読会や講演会が茶房『あすなろ』で開催されました。
- (3) 茶房『あすなろ』の店内で群響の楽団員による演奏会がたびたび開かれました。
- (4) 崔華國は、詩壇の新人の最高賞といわれているH氏賞を受賞しましたが、外国人受賞は初めてでした。

〔正解 1〕

●解説

崔華國は足利から転居し、1955(昭和30)年、本町に茶房『あすなろ』を開店しましたが、道路拡張のため閉店しました。その後、1965(昭和40)年、現在の鞆町に新装開店し、1982(昭和57)年に休業閉店となりました。その後、メンズショップ、2008(平成20)年に「高崎亭」、2013(平成25)年にはCafe『あすなろ』として再生しました。

詩人であり音楽を愛した崔華國は高崎の若い人たちに大きな影響を与えました。

問51

福田赳夫ふくだ たけお元内閣総理大臣についての記述で、正しいのはどれでしょうか。

- (1) 福田赳夫は、旧群馬郡上かみさと郊村の出身です。
- (2) 福田赳夫は旧農林省に入り、戦前・戦中・戦後の困難な時代の農政を担当し、局長になりました。
- (3) 福田赳夫は、アジアの平和が世界の平和をもたらすとして、シンガポールでアジア外交の5原則(福田プラン)を発表しました。
- (4) 福田赳夫内閣は、内需拡大をかかげて財政問題に取り組むと同時に、1978(昭和53)年には日中平和友好条約を締結しました。

〔正解 4〕

●解説

福田赳夫は、1905(明治38)年、金古町足門に生まれました。旧制高崎中学校時代、往復約16キロメートルの道のりを歩いて通うほどの頑張りやでした。1952(昭和27)年10月、衆議院議員総選挙に出馬、当選しました。政界のプリンスといわれ、有権者から信頼されました。

自由民主党幹事長、農林大臣、大蔵大臣、外務大臣などを歴任し、1976(昭和51)年12月、内閣総理大臣になりました。群馬県人の最初の内閣総理大臣でした。経済の福田、全方位平和外交、福田ドクトリン、日中平和友好条約調印など大きな働きをしましたが、派閥戦国時代といわれる時でしたので、福田内閣は2年ほどの政権でした。

高崎学検定委員会